



花のある 空間

大高 令子

新緑の季節の アレンジ

今月の花材

ムシカリ…… 枝

胡蝶蘭…… 花

花見のあとの葉桜を筆頭に、4月は様々な樹々の葉が大きく広がり始め、新緑の季節に向かいます。

今回は、美しい緑の葉をたたえた枝を、剣山などの花止めを使わずに、花器に投げ入れる方法で生けてみます。

花材の種類を絞ることで枝ぶりを活かします。枝は正しい水揚げをすることで長い期間楽しむことができますので、合わせる花も持ちのよいものを選びましょう。

まず、よく洗った深さのある器を用意して、水をたっぷり入れておきます。器の口は小さいほうが枝が留まりやすく、アレンジしやすくなります。

次に、飾る場所をイメージして枝の丈を調整しましょう。広い空間であれば、丈のある枝そのまま使ってみると伸びやかです。

調整した枝を器に入れていきます。枝のおさまりが悪い場合は輪ゴムや麻ひもなどでまとめても

よいでしょう。この時、枝の切り口をハサミで割る、またはナイフで削ぐなどしてたくさんの水を吸い上げられるようにしておきます。

枝がおさまったところで、アクセントに胡蝶蘭を1本挿します。胡蝶蘭は真正面より斜め前に挿すことで作品に動きが出ます。

水替えの際には、水に浸かっている部分の枝を流水で洗うと、バクテリアの繁殖が抑えられて、より長く楽しめます。